

いっぽいっぽ

Hiroshima City Rehabilitatin Hospital
Hiroshima City Daily Living Training Facility地方独立行政法人広島市立病院機構
広島市立リハビリテーション病院
広島市立自立訓練施設

広報誌

病院長
ご挨拶

梅雨も過ぎ、日中は汗ばむ季節となりました。令和7年も折り返しを迎え、本年も当院に多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。
職員一同、心より御礼申し上げます。

令和7年は、1月にアメリカ合衆国でトランプ大統領が就任し、それに伴ってアメリカへの輸出品に高い関税が課されるなど、日本を取り巻く国際環境にも大きな変化が生じました。また、ガザ地区やイスラエル・イラン間の紛争など、ウクライナ情勢とは異なる新たな国際的衝突も発生し、世界はかつてない緊張の中にあります。

令和7年は、まさにそのような大きな変化の年として幕を開けました。規模は大きく異なりますが、当院の医療現場においても、患者さんや医療スタッフを取り巻く環境が着実に変化しています。医師の働き方改革や診療報酬改定など、従来とは異なる対応が求められる中、当院では限られた条件のもとでも医療水準を維持し、スタッフの負担を軽減しながら効率的に変化へ対応できるよう取り組んでいます。広島市立病院機構内の他病院との連携を基軸に、DX（デジタルトランスフォーメーション）など新しい技術の活用にもこれまで以上に積極的に取り組んでいるところです。

当院は、本年で17年目を迎えました。「中途障害者をあらゆるステージで最大限に支援する」という理念のもと、職員一同が一丸となって取り組んできた結果、

令和6年度には病床利用率・受け入れ患者数・重症率など多くの面で前年度を上回る実績を残すことができました。令和7年度もさらに高い病床利用率を維持しており、今後も一人でも多くの中途障害者の方に最善の支援を提供できるよう、職員一同励んでいます。

病院の外に目を向けますと、今年3月には広島駅に「ミナモア」が開業し、8月には広島駅2階への路面電車の乗り入れが始まりました。

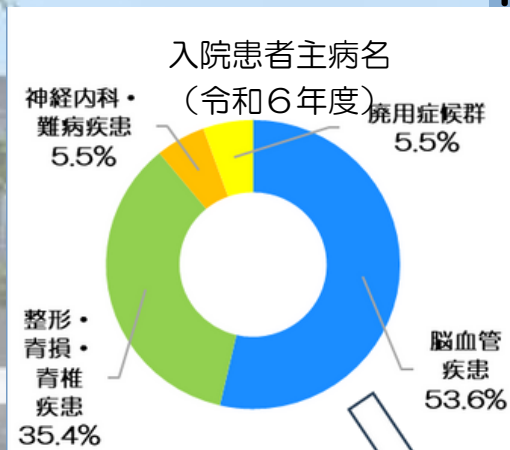
これからも広島のまちは大きな変化を遂げていくと思いますが、平和公園や宮島などの歴史や伝統と調和しながら、新しい姿を築いていくように感じています。当院も「利用者の皆様が住み慣れた地域でいきいきと心豊かな生活を送れるよう、良質で信頼されるリハビリテーションサービスを真心を込めて提供します」という設立当初の基本理念を忘れることなく、伝統を踏まえた上で時代に応じた改善を重ねながら、日々の診療に着実に取り組んでまいります。

今後とも、広島市立リハビリテーション病院を何卒よろしくお願い申し上げます。

令和7年夏 病院長 竹下 真一郎



令和6年度 入院実績



脳血管疾患の割合が半数（53.6%）以上であり、中でも脳梗塞、脳出血の割合が大きくなっています。整形疾患は、骨折（大腿骨）が一番多く、脊髄損傷、脊椎疾患の患者は併せて30%を超えています。

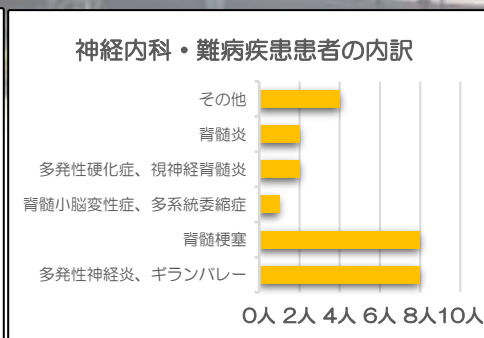
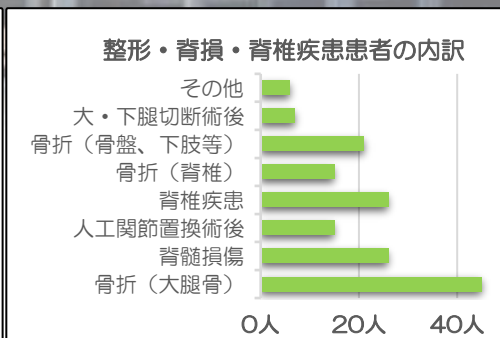
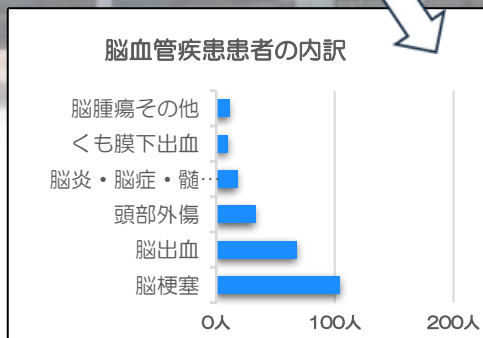
神経内科疾患では、多発性神経炎・ギラン・バレー、脊髄梗塞が60%を占めています。

当院の特徴は若い患者が多いことです。

59歳以下が30.3%を占めており、患者の平均年齢は67.7歳となっています。（全国平均77.5歳）

退院の転帰としては、自宅退院が約82%となっています。

全患者に担当MSWがあり、リハビリに専念できるよう支援します。就労支援にも力を入れています。



入院相談は医療支援室までご連絡ください。ご紹介お待ちしております。
直通TEL：082-849-2801（看護師長 杉岡、MSW 田部まで）

神経難病リハビリテーション外来について

- | | |
|----|---|
| 対象 | パーキンソン関連疾患、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症、脊髄性筋萎縮症、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症・視神経脊髄炎、ギラン・バレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発神経炎、皮膚筋炎・多発性筋炎などの難病と診断され、リハビリテーション治療が必要な患者さま |
| 条件 | 介護保険のリハビリテーション（デイケア）を利用していない
毎週決まった曜日・時間に当院に通院できる |
| 内容 | 理学療法を中心に、週1回、1時間程度（直近に症状の増悪があった場合はその限りではない）
目標を設定して定期的な評価を行いながら治療を行います。
治療期間は個別に設定します。
患者さまの状態によっては、短期の入院リハビリテーション治療を検討する場合があります。
嚥下障害については、医科、歯科による診察と嚥下造影検査などの評価を行い、適正な食形態の提案を致します。 |

紹介から受診までの流れ

かかりつけ医療機関 ➡ 紹介状を用意 ➡ FAXまたは郵送 ➡ 紹介状を持って ➡ 当院に受診



特定行為看護師が特定行為を行なっています

- 特定行為とは**…高度で専門的な知識・技術を身につけた特定行為看護師が、医師の手順書に従い、安全に診療の補助を行うことです。
- 患者さんのメリット**…患者さんの症状に合わせて、特定の行為をタイムリーに処置できるため、病状の悪化を防ぎ、患者さんの苦痛の軽減が早期に図れます。

回復期は、生活を再構築する大切なステージです。

糖尿病の方は、病気と付き合いながら糖尿病合併症の発症や進行を予防し、健康な人と変わらない人生を送ることが目標です。医師、薬剤師、栄養士など多職種と連携し、生活スタイルに応じたインスリン投与量の調整を行い、一緒に良好な血糖コントロールを目指したいと考えています。



山根ゆかり 看護師長

脳卒中看護認定看護師 / 特定行為看護師

栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、血糖コントロールに係る薬剤投与関連 修了



看護科のinstagramがあります！

当院看護科広報活動として、院内イベントや看護科で取り組んでいる事など、より多くの皆様に情報をお届けすることを目的としています。お気軽に閲覧ください。



自立訓練施設

～回復期後の自立訓練という選択肢～

自立訓練施設では、病気や事故などにより身体に障害のある方や高次脳機能障害のある方に、就労・復職といった社会復帰するために必要な支援や自立した地域生活に向けた実践的な取り組みを行っています。

今回は、高次脳機能障害がある方への就労支援について、ご紹介します。

・高次脳機能障害がある方への就労支援

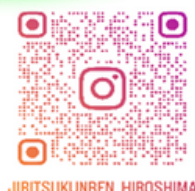
高次脳機能障害による言葉が出にくい、新しいことが覚えられないなどの症状があると、これまで通りに働くことが難しかったり、身体障害とは異なり「見えない障害」であるため、職場にとってもどのように対応すれば良いか分からないなど、復職する上での課題がたくさんあります。当施設では、利用者と職場の【橋渡し役】となり、課題や障害特性についての情報を共有したり、必要に応じて、職場訪問を行い、職場環境や仕事内容を確認し、課題解決に向けた訓練に取り組んでいます。

そして復職だけではなく、広島障害者職業センターやハローワークへの相談に同行するなど、新規就労の支援も行っています。

高次脳機能障害支援養成研修を
修了しました！！
利用相談はお気軽にご連絡ください！



自立訓練施設のinstagramがあります！
施設の日常や取り組みを発信しています。
ぜひご覧ください！



自立訓練施設直通 TEL：082-849-2868

MRI装置が新しくなりました

- MRI装置は最新のAI技術を用いた画像再構成機能を搭載し、検査**時間短縮**と同時に**高画質化**をすることができるGE HealthCare製 1.5T SignaExplorer導入しました。
- AIによる画像再構成はノイズを低減しシャープネスを向上する能力により細かい部分を鮮明に撮影する事が可能で、**画質**が前MRI装置より**向上**しました。
- MRI装置は撮影時間が高速であっても、検査中に動かれた場合には画像がブレ、画質が低下し診断にも影響が出ますが、新しいMRI装置で**動き補正機能**があり、AI技術との併用によって**安定した検査結果が可能**となりました。



寝台の高さが調節でき、
乗降が簡単に!!

回復期セラピストマネージャーが5名在籍しています

(以下、セラマネ)

セラマネとは、

回復期リハビリテーション病棟協会が主催する 養成講座を受講し、試験に合格したセラピストです。 セラマネは職種の枠を超えて業務管理、人材育成、他職種連携を促進し、より効果的で効率的な回復期リハが提供できるよう院内の資源をマネジメントするための存在とされています。

当科での役割としては主に提供する訓練の質の向上、科内のチームビルディング、他職種連携を促進するための研修会の企画をしています。当科は在籍するセラピストが70名を超え、経験年数も幅広く、多様な人材を有する組織となっています。多様な人材を活かし提供する訓練の質を高めていくためにセラマネの果たす役割は年々大きくなっています。

スタッフ紹介



砂堀 仁志PT
2022年度合格

〈お問い合わせ・アクセス〉



広島市立リハビリテーション病院・自立訓練施設
〒731-3168
広島市安佐南区伴南一丁目39番1号

TEL (082) 848-8001 (代表)
FAX (082) 848-8003